



## 自由の国 平等の国

小川仁志著  
ロゼッタストーン (2014)

隣り合う自由の国と平等の国に住む少女が、入れ替わって互いの国をのぞいてみたら…？理想の国ってどんな国？

「市民のための哲学」を実践する小川仁志による本です。本編は小学4年生程度から読むことができる（著者談）読みやすい寓話です。

巻末の解説「少し大人になった君へ」には、本編の物語で描かれる「自由」と「平等」に関する人類の歴史がわかりやすく書かれており、ぜひ子どもたちに読んでほしい内容です（この解説の後にも用語解説が付いています）。しかし、本編のみ読んで解説を読み飛ばしてしまう子が多いでしょうし、小・中学生が一人で解説を読むと、内容的に少し難しいと感じるかもしれません。司書や教員の一押しで本編の理解が何倍にも深まる、価値のある解説です。

小・中学生にはディベートの資料として、高校生には倫理など社会科の教材としても、それ活用できそうです。未来を作るのは子どもたちである、という著者の熱い思いや、子どもたちへの温かいまなざしを感じることができる本です。

